

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：本省道路局国道・防災課  
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道56号 宇和島道路 <small>うわじま</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県北宇和郡津島町高田 至：愛媛県宇和島市高串 <small>きたうわ しま たかだ うわじま たかくし</small>	延長	14.0 km		
<b>事業概要</b> 一般国道56号は、高知市を起点に、中村市、宿毛市、宇和島市、大洲市を経由して松山市に至る延長約300kmの主要幹線道路である。南予地域を南北に縦貫するこの路線は、松山方面と南予、高知西南地域を結ぶ四国南部の動脈で、県民の生活基盤として重要な役割を果たしている。 しかしながら、近年の交通需要の拡大に伴う交通量の増加は著しいものがあり、宇和島市街部では交通混雑・渋滞が慢性化しており、周辺市町村を含めた地域全体の生活や産業にまで、深刻な影響を及ぼしてきている。 宇和島道路は、市街地に集中していた交通量を減少させ交通混雑・渋滞を緩和し、安全で円滑な交通確保を図るものである。					
S59年度 事業化		S59年度 都市計画決定		S60年度 用地着手	
S62年度 工事着手		S59年度 都市計画決定		S60年度 用地着手	
全体事業費	約 1500 億円	事業進捗率	55 %	供用済延長	4.9 km
計画交通量	33,900 台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.7	(既事業)/(事業全体) 455 / 1,670 億円	(既事業)/(事業全体) 3,060 / 2,820 億円	平成 15 年	
	(既事業) 6.7	事業費：433 / 1,636 億円 維持管理費：22 / 34 億円	走行時間短縮便益：2,907 / 2,620 億円 走行費用減少便益：127 / 157 億円 交通事故減少便益：28 / 39 億円		
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築 （当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構築する。：四国8の字ハイウェイ） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する：愛媛国体） 他18項目に該当					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 宇和島道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、一般国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会、宇和島地区市長村議長会、四国西南地域市議会議長懇談会等より、早期整備の要望を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成12年7月 四国縦貫自動車道 大洲～伊予間供用開始 ・平成14年3月 四国縦貫自動車道と大洲道路直結 松山自動車道大洲IC～大洲道路大洲北IC間供用開始					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成14年度末の進捗率は55%となっており、4.9kmを部分供用している。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地・工事の推進を図り、早期に全線暫定2車線供用を図る予定である。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・高架部において、橋梁の床版工法に新工法(TTM床版)を用いる等時間的工事コスト削減を図っている。 ・再生砕石を舗装、路盤工等に利用する等工事コストの削減を図っている。 ・建設残土を愛媛県の事業である大浦湾埋立計画に利用する等社会的コストの低減を図っている。					
<b>対応方針</b> 事業継続					
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
<b>事業概要図</b>					
<p>The map shows the project route from Takada (津島町) to Takakushi (宇和島市). Key features include:                  - Existing National Route 56 (一般国道56号) running parallel to the project.                  - The Shikoku Expressway (四国縦貫自動車道) with various interchanges (IC) such as Oki (大洲北IC, 大洲南IC, 大洲南IC, 大洲南IC, 大洲南IC).                  - Construction phases: 'H10年3月 2車線暫定供用' (March 2018, 2-lane temporary use) and 'H5年3月 2車線暫定供用' (March 2013, 2-lane temporary use).                  - A legend (凡例) indicates: solid line for '供用中' (in use), hatched area for '再評価箇所' (re-evaluation area), and dotted area for 'うち供用中' (partially in use).                  - Other locations shown include Matsuyama (松山市), Utsunomiya (宇和島市), and Takakushi (高串).</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。